



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# (株) ダイオーズ

5

## 1 創業から新事業参入まで

東京都港区に本社をおく、株式会社ダイオーズ（以下、「ダイオーズ」）は、現在の社長、大久保真一氏が、1969年（昭和44年）にダスキンの加盟店として設立した会社である<sup>1</sup>。同社は、2007年3月1日、東京証券取引所第一部銘柄に指定された。ダイオーズの事業は、オフィス向けに各種消耗品や清掃サービスを定期配送する事業であり、その中核は、オフィス・コーヒー・サービスとウォーター・サービスである。このほか、ECO トナー・サービス、クリーン・ケア・サービス、オフィス清掃サービスを展開している。

10

ダイオーズは、1969年の創業と同時にダスキンのフランチャイズ・チェーンに加盟し、清掃用品などのレンタル事業を開始する。法人需要にいち早く着目し、都心のオフィス街への売り込みを図った。当時の営業部隊の目標は、ダスキン・フランチャイズ・チェーンにおける「全国トップの売上達成」である。そして、1975年、ダイオーズはこの目標を達成した。

15

創業当初の目標を達成したため、ダイオーズには、新しい目標が必要になった。そこで、新しい事業に進出することを決定する。当時、アメリカで普及していたオフィス向けのコーヒー・サービスを日本で立ち上げ、今度は自らがフランチャイズ・チェーンの本部となって店舗網を拡大するのである。

20

顧客のオフィスに設置するコーヒー・メーカーを調達するなど、実際に事業を始めるには2億円以上の投資が必要である。これに対し、当時のダイオーズの年間売上高は約5億円であった。かなりリスクのある投資であったが、法人需要に着目したアイデアの良さと、ダスキン・フラン

---

<sup>1</sup> 以下、本節の内容は、ダイオーズのウェブサイト、<http://www.daiohs.com> の情報、および「夢を与え、人を生かす—大久保真一 ダイオーズ社長—」、『日経ベンチャー』、1999年08月号による。このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 太田康広がクラス討議のための資料として作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8523 神奈川県横浜市港北区日吉本町2丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

Copyright© 太田康広（2008年4月作成）